

シリーズ

「私の森語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「豊かな暮らし方提案を通して、
豊かな森づくりを目指す」



株式会社やまとわ
えのもと ひろみ
榎本 浩実

■自己紹介

林業大学校を卒業した後、木曾町で地域おこし協力隊に着任。その後、株式会社やまとわへ入社しました。地域の学校と連携をした出張授業のコーディネートや広報などを通して、森のことを色んな人へ伝える仕事をしています。

■活動内容

株式会社やまとわは、長野県伊那市を拠点に森と暮らしをつなぐ様々な事業を行っています。

夏は農業、冬は林業を行う「農と森事業部」、地域材を使ったも

のづくりをしている「木工事業部」、家づくりやオフィス・店舗設計などを行う「暮らし事業部」、森とまちをつなぐ企画提案などを行う「森事業部」。四つの事業部がそれぞれ連携をしながら、森と暮らしを豊かにする循環づくりを行っています。

2020年には、木を紙のように薄く削った日本伝統の包装材料「経木きようぎ」のオリジナルブランド「信州経木 Shiki」をリリースしました。かつて、肉や魚などを包む包装材料として、暮らしの中で親しまれていた経木。しかし、高度経済成長と共にプラスチック製品が普及し始めると、経木は暮らしの中でほとんど見かけなくなりました。

その結果、現在国内の生産者は数えるほどしかいません。

程よい調湿作用があり食材を美しく保ってくれる経木。私たちはこのプロダクトに森と暮らしを



信州経木 Shiki



Shiki bun 木のノート



農と森事業部・木工事業部・暮らし事業部・森事業部 集合！

つなぐ新たな可能性を感じ、生産・販売をスタート。現在では百店舗以上で取り扱っていただいています。

また、今年の三月には、経木を使ったステーションナリブランド「Shiki bun」をリリース。さらには、クラフトビールのパッケージや教育現場での利用が進むなど、新しい経木の活用が少しずつ広がっています。

■メッセージ

今回は、経木の一例をご紹介しましたが、私たちはこれからも、色んな角度から森と暮らしをつなげる取り組みを行っています。やまとわの日々の様子などは、SNSで更新していきますので、ぜひチェックしていただくと嬉しいです。

○連絡先

住所：長野県伊那市西箕輪

6565-20

電話：0265-78-2121

mail: meguru@yamatowa.co.jp

HP: <https://yamatowa.co.jp/>

